

フィリピン

幹線道路橋梁改修事業（Ⅲ）



本事業により建設された橋梁（ナギリアン橋）

[借款概要]

承諾額/実行額	4,616百万円 / 4,365百万円
借款契約調印	1994年12月
借款契約条件	金利3.0%、返済30年（据置10年）
貸付完了	2001年10月

[事業概要]

フィリピン最大の南北横断道路である日比友好道路及びマニラ首都圏とルソン島北部を結ぶマニラ北方道路において老朽化した橋梁を改修し、首都圏と地方を結ぶ物流の改善に寄与するもの。

[評価結果]

本事業は1990年及び91年に供与した円借款により84カ所の橋梁を改良したことに続くものであり、完成後40～50年を経て、老朽化が著しい橋梁を精査の上、8カ所の橋梁の架け替え・修復工事を実施した。これらの橋梁は、過積載車両により崩壊し、また台風の洪水により流された後、仮設橋のままであった橋梁など、いずれも修復の優先度が高い橋梁であった。

各橋梁は1997年から2000年にかけて順次完成し、老朽化のため以前は5トン程度までの重量制限や大型車の通行禁止等の措置がとられていたが、本事業により15トンまで通行可能となった。交通量は年々増加しており、地域の物流の確保、住民の利便性の向上等に寄与したものと見られる。

また、工事は地元企業により行なわれたが、設計・施工段階で新しい橋梁技術が導入されたことによる技術移転効果も指摘されている。なお、対象橋梁の状況に問題はないが、今後、同国全体の課題として維持管理予算の確保に留意する必要がある。